



# 広島デジフラ構想2023

広島県土木建築局 建設DX担当

主査 岡崎 太一

# 広島県のDX施策

## スポーツ

＜広島横断型スポーツ応援プロジェクト＞  
データを活用した新たなスポーツの楽しみ方の提供



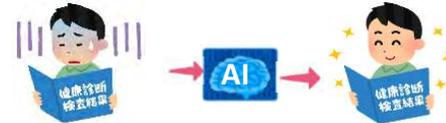
## デジタルインフラマネジメント

＜データ利活用基盤の構築＞  
地形データ等を共有・活用しながら様々な取組を推進



## 健康

＜働き盛り世代の健康づくり＞  
健診情報等のデータを活用した適切な生活習慣の定着



## 医療

＜オンライン診療＞  
オンライン診療・服薬指導の普及を図り、必要な医療を受けられる体制を構築



## 観光

＜観光CRMの構築＞  
デジタルマーケティングを踏まえた顧客ごとの情報発信や双方向での関係構築



＜令和5年度＞

62 事業

広島たちまちDX

約 84 億

円

## 産業イノベーション

＜ひろしまサンドボックス＞  
実証実験「ひろしまサンドボックス」で開発された商品・サービスの県内への実装を推進・県内企業・自治体とスタートアップ企業等とのマッチング支援



## 農業水産業

＜スマート農業・水産業＞  
ひろしま型スマート農業技術確立に向けた実証実験や、デジタル技術を活用したかき養殖の生産安定化や漁場環境改善



## 行政のデジタル化

＜電子申請・電子納付＞  
行政手続きの申請から手数料などの支払いまでをオンライン化



## 防災・減災

＜防災体制の強化＞  
次期防災情報システムの構築に向けたシステム要件や仕様の検討・事前調査



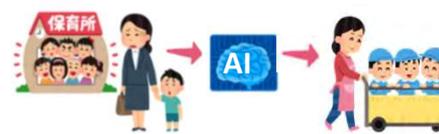
## 移住・定住促進

＜広島への移住促進＞  
AI・デジタルマーケティング等を活用した広島への移住・定住促進事業



## 子育て

＜子供の成長支援＞  
・AIを活用した子供の予防的支援  
・保育所AI入所選考システム



## 交通

＜広島型MaaSの推進＞  
交通と生活サービスをひとつのサービスとして提供





## 広島デジフラ構想【R3.3策定】

建設分野における調査，設計，施工から維持管理のあらゆる段階において，デジタル技術を最大限に活用し，官民が連携してインフラ（公共土木施設等）をより効果的・効率的にマネジメント（管理・運営）していくため，目指す姿や具体的な取組案をとりまとめたもの

### ■現状・課題

1. 自然災害の激甚化・頻発化  
→施設整備等の効果的・効率的な推進  
ソフト対策の充実・強化
2. インフラ老朽化の進行  
→維持管理の一層の高度化・効率化
3. 建設分野の担い手不足  
→i-Constructionなどによる生産性の向上
4. 新型コロナによる社会変容  
→書面・対面にとられない働き方への転換
5. デジタル化・データ利活用の遅れ  
→インフラデータを利活用できる仕組みの構築



### ■目指す姿

1. 新たなサービス  
・付加価値の創出
2. 県民の安全・安全の向上
3. 県民の利便性向上
4. 建設分野の生産性向上
5. 持続的な変革

- ✓ 広島デジフラ構想は，建設分野におけるDXの取組をとりまとめたもの
- ✓ この取組の一つとして，データ連携基盤「DoboX」を構築（DoboX≠デジフラ構想）
- ✓ DoboXを活用して，データを活用した様々な取組を推進していく

# 広島デジフラ構想（具体的な取組）

# 50



分類	取組名
①	インフラマネジメント基盤(DoboX)の構築・運用拡大
	地盤情報のオープンデータ化
②	県土全体の3次元デジタル化
	都市計画基礎調査結果のオープンデータ化
	民間企業等のニーズを踏まえたデータ整備・利活用の推進
	中古住宅市場の活性化に向けた関連データの一元化
③	個人ごとに異なる災害リスク情報のリアルタイム発信
	個人ごとに異なる避難ルート設定
	洪水予測などの水害リスク情報の高度化
	災害リスク情報等の3Dマップ化
④	ARを活用した水害・土砂災害記録の伝承と災害リスクの可視化
	画像情報等の充実・強化
	災害発生直後の調査・設計の迅速化
	ダム放流操作の精度向上を支援するシステムの構築
⑤	ビッグデータを活用した主要渋滞箇所における交通円滑化対策の実施
	デジタル技術を活用した港湾物流の高度化・効率化
	新技術等を活用した効果的・効率的な空き家対策の推進
	人流データを活用した利便性の高い空港アクセスネットワークの確立
	クルーズ客等港湾利用者の行動分析データの活用
	デジタル技術を活用した瀬戸内海航路網の最適化
⑥	インフラツーリズムの推進
	建築関連申請業務等のオンライン化
	主要構造物におけるCIMの完全実施
	土工工事におけるICT活用工事の完全実施
	受発注者間の協議・臨場等の高度化・効率化

分類	取組名
⑥	公共事業の調達事務の電子化
	国・県・市町における業務・工事成果等の共有化
	地下埋設物情報の共有化
	法規制関係情報の一元表示
	Allによる積算チェック機能及び工事発注までの作業効率化
	監督業務などのサポート機能の構築
⑦	AIなどを活用した地形改変箇所等の抽出
	3次元設計(BIM)の試行実施拡大
	公共事業の進捗状況の見える化
	用地関連業務における支援データベースの構築
	ドローン等を活用した施設点検の高度化・効率化
	法面の崩落予測技術の構築
⑧	除雪作業における支援技術の構築
	路面管理の効率化と路面陥没等を予測する技術の構築
	道路附属物へのセンサー設置等による変状把握
	河川巡視・点検における変状箇所把握の効率化
	排水機場の排水ポンプの劣化予測システムの構築
	IoTやドローン等を活用した獣害防止対策の構築
⑨	ドローン等を活用した県営住宅の安全安心の確保
	道路台帳付図閲覧の利便性向上
	港湾・漁港台帳閲覧の利便性向上
	デジタル技術を活用した港湾保安対策の高度化・効率化
⑩	建設分野におけるデジタルリテラシー向上に係る研修の実施
	建設分野におけるDX推進のための官民協働体制の構築
	建設現場の魅力発信(i-Constructionの推進)

# インフラマネジメント基盤「D o b o X」

D o b o X

土木 × DX = ドボックス

■ DoboXポータルサイト

<https://hiroshima-dobox.jp/>





<https://hiroshima-dobox.jp/>

## インフラマネジメント基盤 (DoboX) 【R4.6/28運用開始】

公共土木施設等に関するあらゆる情報を一元化・オープンデータ化し、外部システムとのデータ連携を可能とするシステム基盤

### ■ 主な機能

#### 1. 公開機能

- 地図やカタログからデータを検索・ダウンロードできる
- 地図上でデータを重ね合わせて確認できる
- インターネット上でソフトウェア間のデータ連携ができる

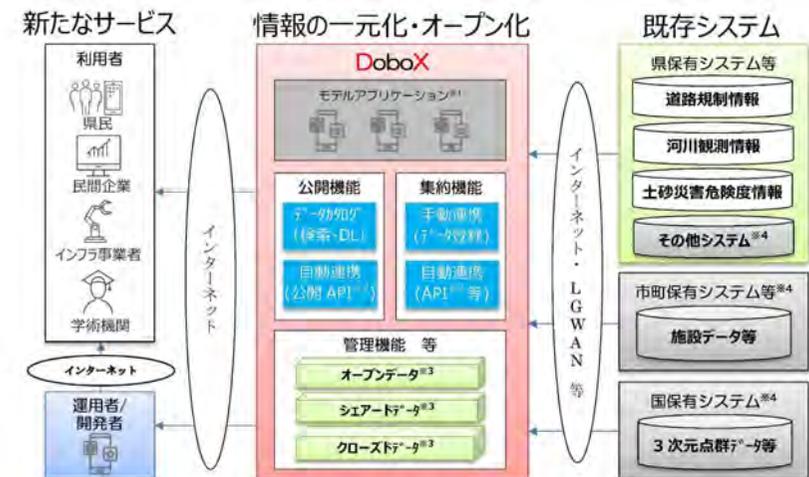
#### 2. 集約機能

- 既存システムから自動でデータを取得できる
- DoboXに直接データを登録できる

#### 3. 管理機能

- データの閲覧権限等を設定できる

### ■ システムの概要



※1 本システム構築業務には、モデルアプリケーションの開発は含まない（別途開発）  
 ※2 インターネット上でソフトウェア間のデータ連携が可能な機能をいう  
 ※3 管理データには、県民への公開を前提とするオープンデータ、広島県が許可したものだけに限定公開するシェアードデータ、広島県のみ閲覧できるクローズドデータの3種類のデータがある  
 ※4 本構築では防災情報を中心とした県保有システムと連携し、運用開始後、連携先等を順次拡大しデータや機能をアップロードしていく

- ✓ DoboXは、オープンデータのカタログサイトではなく、データ連携基盤
- ✓ 様々なステークホルダーと連携することで、多様なサービスの実現を目指す

# サービスの具体例 (D o b o X)

従来

## 情報の一元化・オープンデータ化



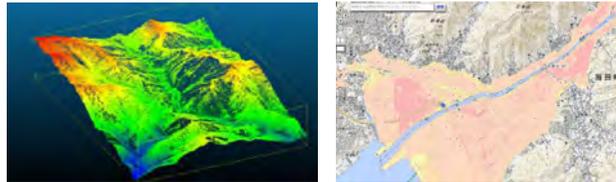
施設毎のシステムで公開



内部保管データ

〔システム間の連携やデータの活用が進んでない〕

## データの融合



3次元データ ハザードマップ



都市計画基礎調査結果

〔情報は個々で管理し、共有・連携が進んでない〕

## データ連携



NHK (土砂災害危険度等)



Yahoo!防災速報

〔個別に調整した企業等のみとデータを共有〕

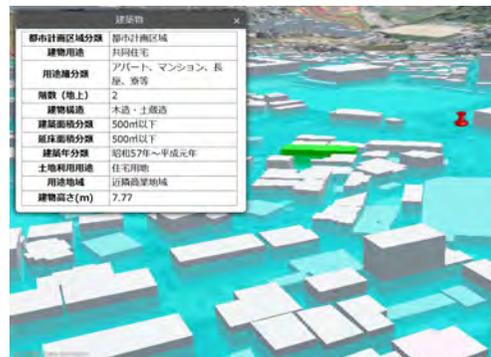
構築後



情報の一元化

オープンデータの活用

〔情報の一元化・データの有効活用による利便性向上〕



3Dマップ

〔データを組み合わせ新たなサービスを提供〕



カーナビ



防災アプリ

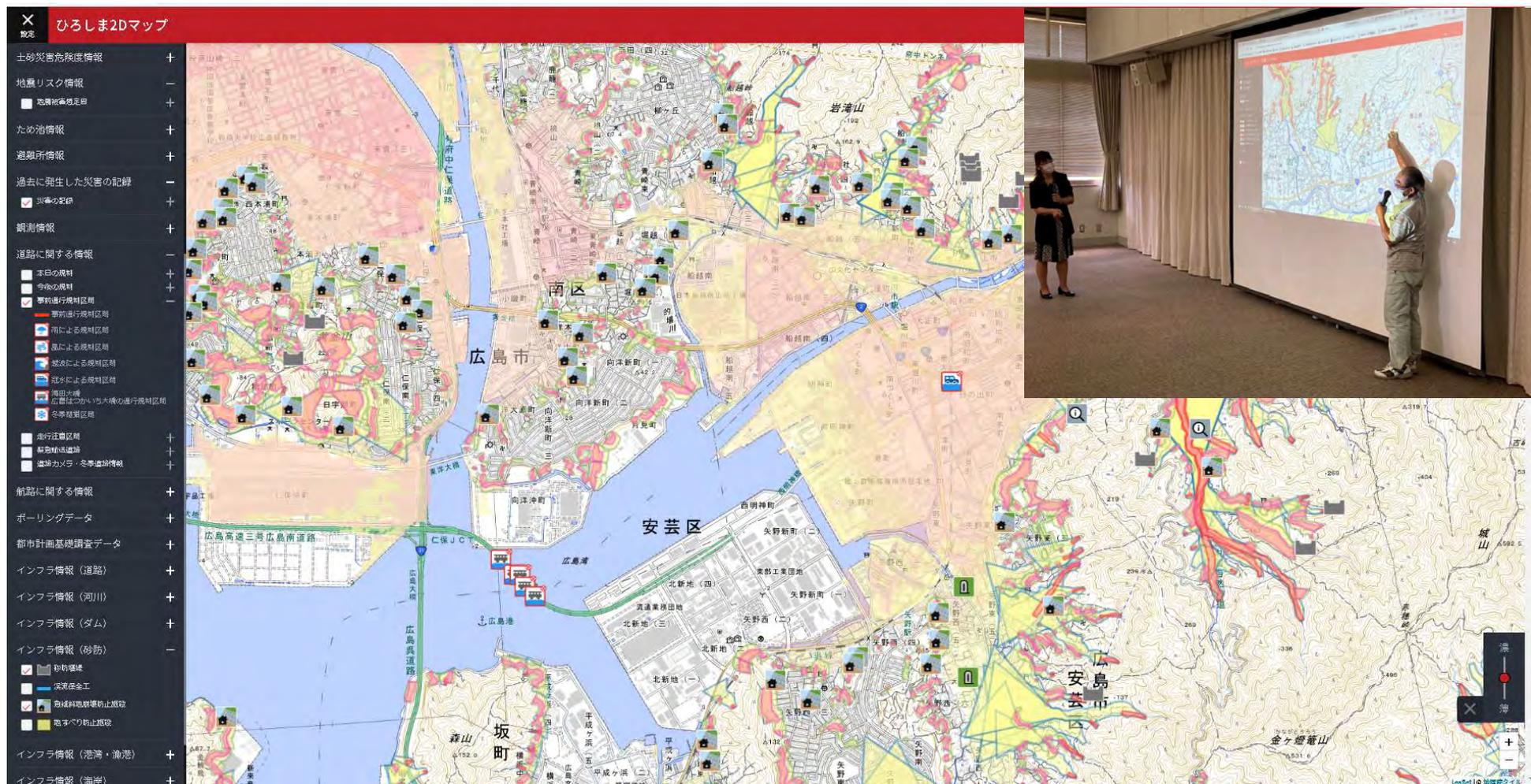


観光MaaS

〔データ連携により、複数の事業者からサービスを提供〕

# 災害リスク情報の一元化 (D o b o X)

災害リスク情報や防災施設などの情報を集約し，防災訓練等に活用



主な公開データ：浸水想定区域，土砂災害警戒区域，ため池，道路の事前通行規制区間，避難所，砂防ダム，がけ崩れ防止施設，過去の災害の記録，など

# カメラ情報の一元化 (D o b o X)

国・県・市町が管理する道路，河川，ダム，港湾，海岸のカメラ情報を一元化

カメラマップ

レイヤーを選択  
カメラマップ

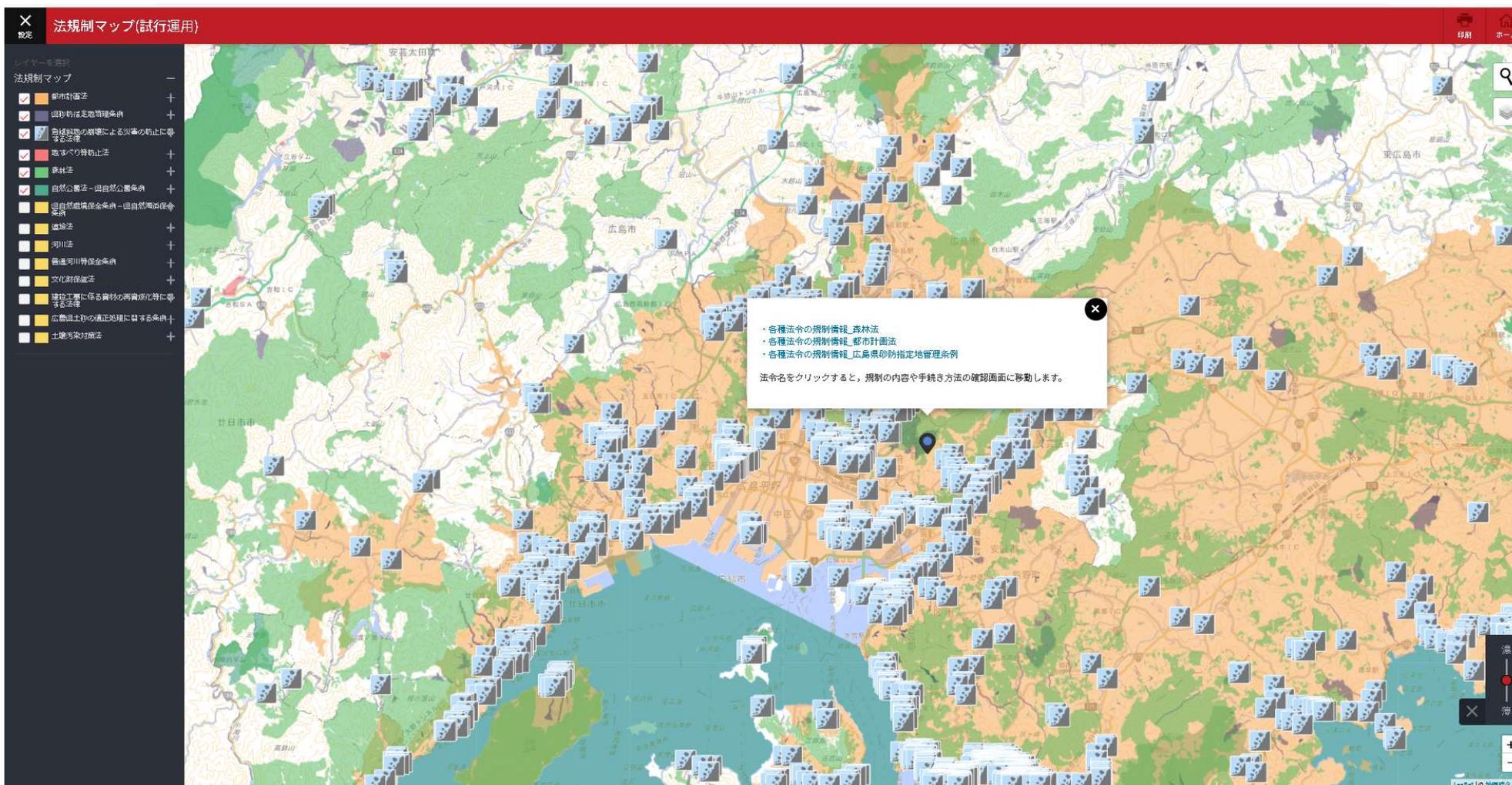
- カメラマップ
- 道路
- 河川
- ダム
- 砂防
- 港湾
- 海岸
- 公園

No.	210
カメラ名	山野
住所	福山市山野町山野1355
緯度	34.65697
経度	133.38892
公開URL	<a href="https://www.roadnavi.pref.hiroshima.lg.jp/camera_detail.php?id=147">https://www.roadnavi.pref.hiroshima.lg.jp/camera_detail.php?id=147</a>
所管	広島県
管理区分	道路

公開データ：国（河川），県（道路，河川，ダム，港湾，海岸）  
呉市（その他），東広島市（河川），江田島市（港湾），北広島町（河川）

# 法規制情報の一元化（試行版）（D o b o X）

各種法令（14法令）の規制区域や規制内容，手続きなどが確認できる



確認できる法令：都市計画法，県砂防指定地管理条例，急傾斜地法，地すべり等防止法  
森林法，自然公園法など

# 施設情報の一元化 (D o b o X)

県が管理する道路，河川，砂防，港湾等の施設の諸元等を確認できる

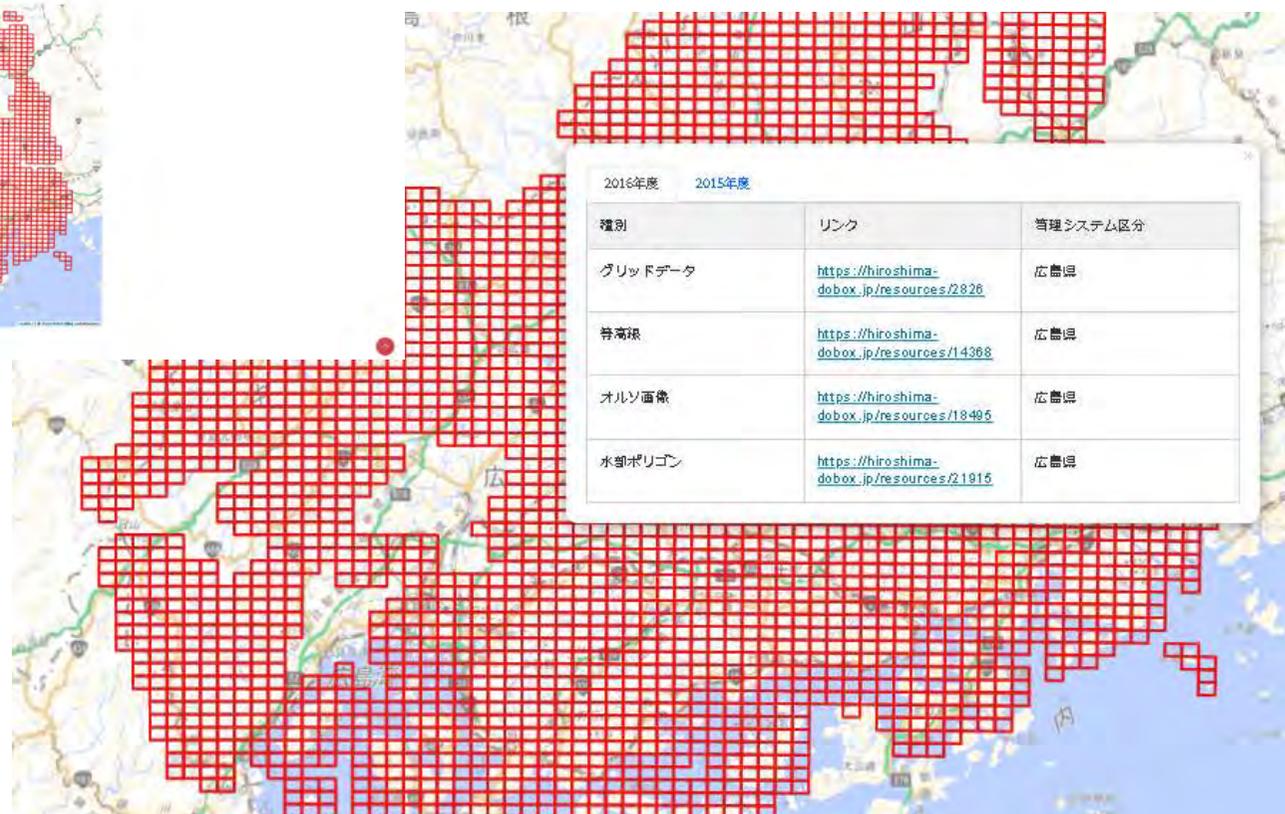
The screenshot shows the 'ひろしま2Dマップ' (Hiroshima 2D Map) interface. On the left, there is a sidebar with various filter categories and checkboxes for different types of infrastructure. The main area displays a 3D map of Hiroshima with numerous infrastructure icons. A popup window is open, displaying the following details for a specific bridge:

施設名	半明原橋
施設名(フリガナ)	ハシノウハラ
種別	道路橋
路線名	433号
道路種別	国道
架設年度	1994
延長(m)	12.200
橋員(m)	11.50
管理事務所名	廿日市支所
住所(県)	広島県
住所(市町)	廿日市市
緯度(10進数)	34.37329
経度(10進数)	132.30628
点検年度	2021

公開データ：県管理施設（道路，河川，ダム，砂防，港湾・漁港，海岸）

# オープンデータ化 (D o b o X)

航空レーザー測量によって取得したデータ (1mDEM) が誰でも利用可能



公開データ：グリッドデータ，等高線，オルソ画像，水分ポリゴン (2014～2017年取得)

# データの融合 (D o b o X)

被害状況を視覚的に確認でき、地域に潜む被災リスクを住民間で共有



**ひろしま 3Dマップ**

建築物	
都市計画区域分類	都市計画区域
建物用途	共同住宅
用途細分類	アパート、マンション、長屋、寮等
階数(地上)	不明
建物構造	鉄筋コンクリート造
建築面積分類	500㎡以下
延床面積分類	1500㎡以下
建築年分類	平成2年～平成11年
土地利用用途	住宅用地
用途地域	近隣商業地域
建物高さ(m)	29.15

↑ 建物をクリックする  
建物の用途や構造などを表示

**防災情報**

▼ 現在地の情報

地区	海田西地区
住所	安芸郡海田町幸町
緯度	34度 22分 5.637秒
経度	132度 32分 30.609秒

▼ 現在地の洪水浸水想定区域情報

洪水浸水想定区域内にいる恐れがあります。

河川名(種別) : 瀬野川水系瀬野川(想定最大規模)

浸水深 : 2.88 m

河川名(種別) : 瀬野川水系瀬野川(計画規模)

浸水深 : 1.08 m

▼ 現在地の高潮浸水想定区域情報

高潮浸水想定区域内にいる恐れがあります。

浸水深 : 5.71 m

▼ 現在地の津波浸水想定区域情報

津波浸水想定区域内にいる恐れがあります。

浸水深 : 1.66 m

▼ 現在地の津波災害警戒区域情報

津波災害警戒区域内にいる恐れがあります。

基準水位 : 1.66 m

↑ 建物以外をクリックすると  
指定箇所のリスク情報を表示

現在地

公開データ：土砂災害警戒区域等（全市町）、津波・高潮浸水想定区域（全市町）  
洪水浸水想定区域（瀬野川・黒瀬川・沼田川・芦田川流域）、3D都市モデル（海田町、府中市）

# 運用後の取組 (D o b o X)

官民が協働して取り組むアプリ開発などイベントを通じて、デジタルリテラシー向上、新たなサービス・付加価値を創出を目指す



県職員から地域課題の説明 (9/16)



参加者による成果発表 (9/17)



広島県 DoboX × PLATEAU

## Hack Challenge 2023 in HIROSHIMA

広島を未来をデザインし提案する  
2日間の集中ワークショップ

地域課題やまちの困りごとを、  
データに基づき分析し、未来を描く

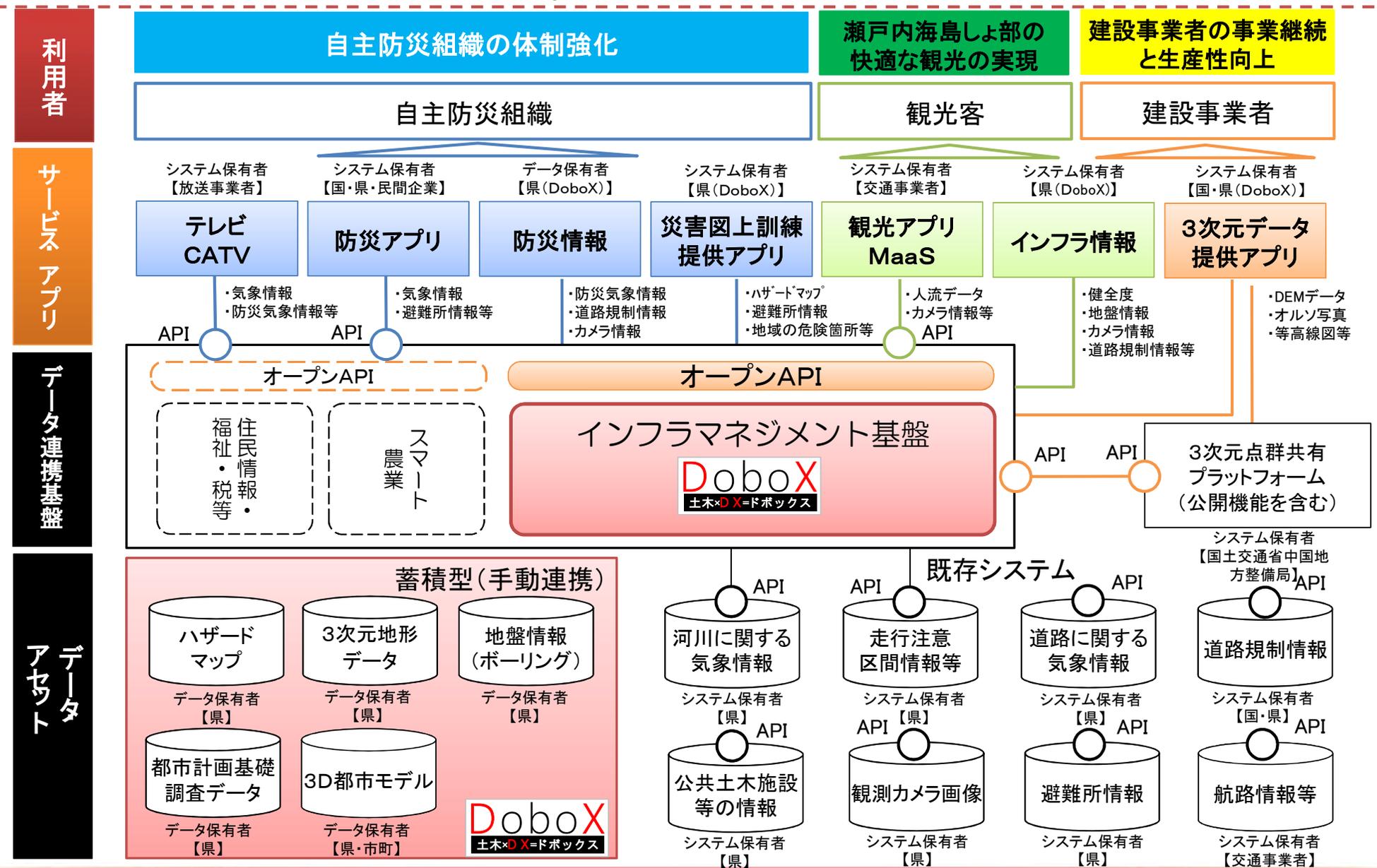
データを使って、地域課題に向き合い、広島の未来を創造する2日間。  
新たな気づきとアイデアを創出し、  
地域課題の解決アイデアや新たなサービスを生み出そう。

学びと開発	実践とフィードバック	参加対象	詳細情報 参加申込はこちら
<b>9/16</b> 土	<b>9/17</b> 日	最大30名(応募多数の場合は、先着順) ● 県内在住の方 ● 県内に就労・修学されている方 参加費：無料(宿泊が必要な場合は自己負担) ※普段お使いのノートPCを持参ください。	
10:00-18:00 [開場09:40]	10:00-18:00 [開場09:40]		申込締切9月1日(金)

場所/イノベーション・ハブ・ひろしま・Campus (広島市中区能楽町1-4-3 エフクイビル1F)

# データ連携 (D o b o X)

民間アプリ等と連携し、複数の事業者等からサービスを提供



# 広島デジフラ構想（具体的な取組）

## (⑥-02) 土工工事におけるICT活用工事の完全実施(i-Constructionの推進)

### 現状

・ICT活用工事の普及に取り組んでいるが、年間10件程度の試行に留まっている。  
・国では、2025年度までに生産性2割向上を目指し、ICT活用工事の実施拡大を進めている。

### 将来像

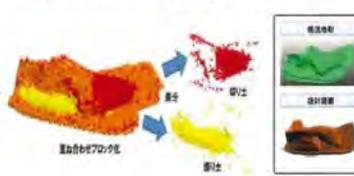
・ICT活用工事の実施拡大に伴い、品質確保・向上や建設現場の生産性が向上している。

(イメージ図)

① UAV等による3次元測量



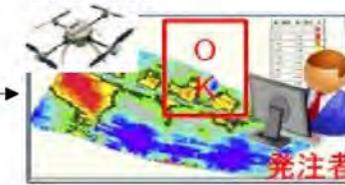
② 3次元測量データによる設計・施工計画



③ ICT建設機械による施工



④ 検査の省力化



出典：国土交通省「ICT施工の普及拡大に向けた取組」資料-1  
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/content/001359377.pdf>

実現成果

・ICT活用工事の件数拡大により、建設現場の生産性を順次向上

・工事現場の規模に関わらず、工事内容や現場条件に応じて、ICT活用工事(土工)が実施され、建設現場における生産性が向上している  
・舗装工、法面工等の多様な工種でICT活用工事を実施され、生産性が向上している



具体的な取組

#### 【工種・規模】

- 土工(500m3以上)
- ・河道浚渫工事
- ・砂防堰堤工事
- ・その他工事(予定価格1億円程度)
- 舗装工(1,000m2以上)を追加
- ・予定価格3,500万円程度

#### 【発注型式】

- ・発注者指定型に加え、受注者希望型を導入
- ・簡易型ICT活用工事導入(受注者希望型)

#### 【工種・規模】

- 土工(500m3以上)
- ・原則、すべての工事
- ⇒ICT活用工事の発注100%(達成)
- 舗装工(1,000m2以上)
- ・原則、すべての工事
- その他工種
- ・河川浚渫、法面工等を追加

#### 【発注型式】

- ・簡易型ICT活用工事導入(発注者指定型追加)

#### 【工種・規模】

- 土工(500m3以上)
  - ・原則、すべての工事
  - 土工(500m3未満)
  - ・効果が期待できる工事
  - 舗装工(1,000m2以上)
  - ・原則、すべての工事
  - その他工種
  - ・橋梁上部、基礎工、擁壁工等を追加
- 【発注型式】
- ・発注者指定型及び発注者指定(簡易)型の対象工事を拡大

#### 【工種・規模】

- 土工
  - ・原則、すべての工事
  - 舗装工
  - ・原則、すべての工事
  - その他工種
  - ・工種拡大
- 【発注型式】
- ・発注者指定型及び発注者指定(簡易)型の対象工事を拡大

ICT関係要領(広島県の調達情報)<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/standard/index07.html>

# 広島デジフラ構想（具体的な取組）

## ⑥-03) 受発注者間の協議・臨場等の高度化・効率化(i-Constructionの推進)

### 現状

- ・不測の事態が生じて発注者の確認等が必要となった場合などに、現場で手待ちが生じている。
- ・出来形等の確認作業において、現場の人手を要している。

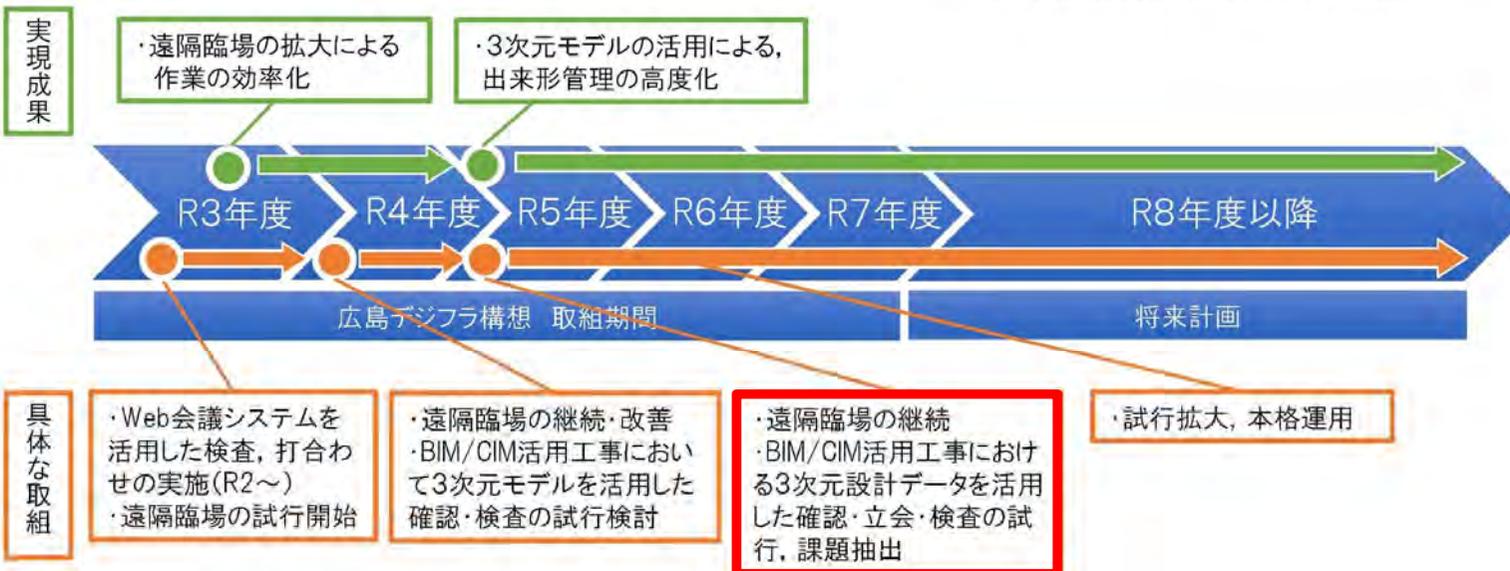
### 将来像

- ・移動や協議に要する時間の短縮により、現場の手待ち時間が削減されている。
- ・少ない人手で、正確かつ迅速に出来形等の確認ができています。

(イメージ図)



出典：国土交通省 試行内容(概要)の紹介  
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/content/001359383.pdf>



※遠隔臨場試行要領(広島県の調達情報)<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/standard/file/enkaku.pdf>

# 広島デジフラ構想（具体的な取組）



出来形確認



配筋確認



工場検査

工事名	一般国道 487号 道路広管付 施工事（早瀬大橋併設防犯車庫付）
工程	P7橋脚粘性ダンパー工
測点	製作工場 川金コアテック
P7、P1橋脚粘性ダンパー工 粘性ダンパー 性能検査立会	

※遠隔臨場試行要領(広島県の調達情報)<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/standard/file/enkaku.pdf>

# 広島デジフラ構想（具体的な取組）

## ⑥-04) 公共事業の調達事務の電子化

### 現状

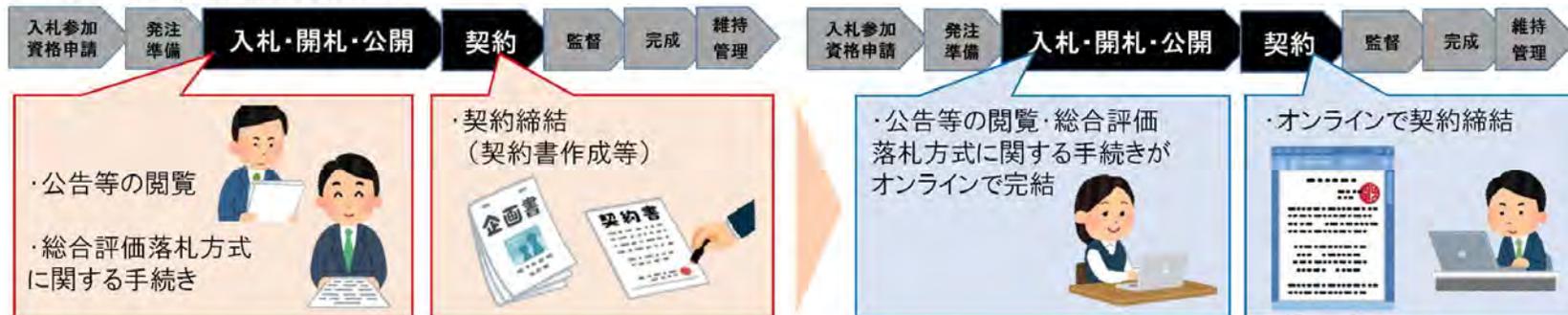
・入札、契約、実施、納品の一連の事務のうち、一部において書面による手続きが残っており、オンラインで手続きが完結できていない。

### 将来像

・入札から納品までの一連の事務を電子化し、オンラインで手続きが完結できている。

(イメージ図)

《一般的な公共事業の主な流れ》



# 広島デジフラ構想（具体的な取組）

## ⑦-10) 道路台帳付図閲覧の利便性向上

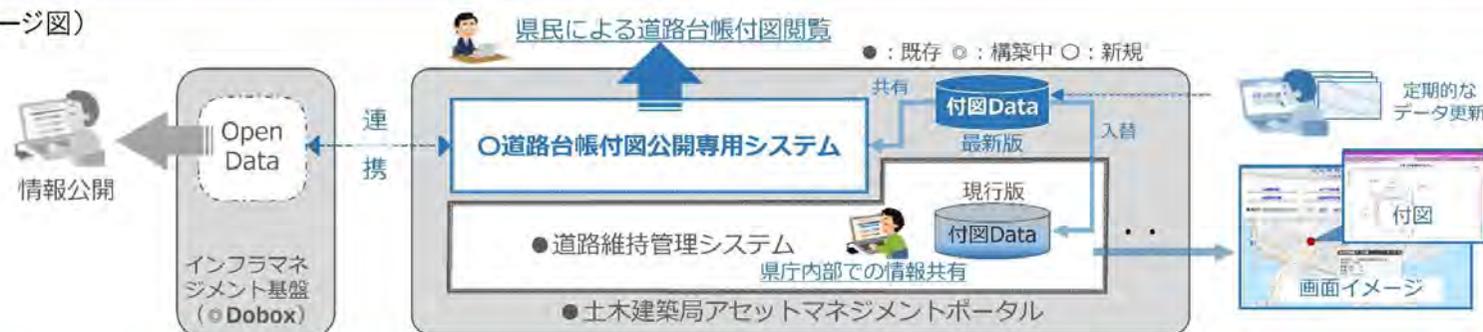
### 現状

- ・付図利用者は事務所での閲覧が必要であり、かつ紙媒体であり利用が容易では無い。
- ・事務所ごとに紙媒体で管理されているため、本庁との情報共有が難しい。

### 将来像

- ・付図利用者はインターネットを介して自由に閲覧可能となる。
- ・県内部での情報共有が進み業務の効率化が図れている。
- ・定期的更新実施によりデータ鮮度維持→サービス品質が向上。

(イメージ図)



実現成果

- ・道路台帳付図がインターネットで公開され外部利用者の利便性が向上
- ・県内部で付図データ共有環境が完成し、業務の効率化に寄与

- ・定期的な付図更新サイクルが確立し、民間や関係機関等でのデータ活用が進んでいる
- ・事業者や関係機関との利活用が促進されている



具体的な取組

- ・道路台帳付図のデジタル(pdf)化作業発注
- ・「台帳付図公開専用システム」の構築業務の発注

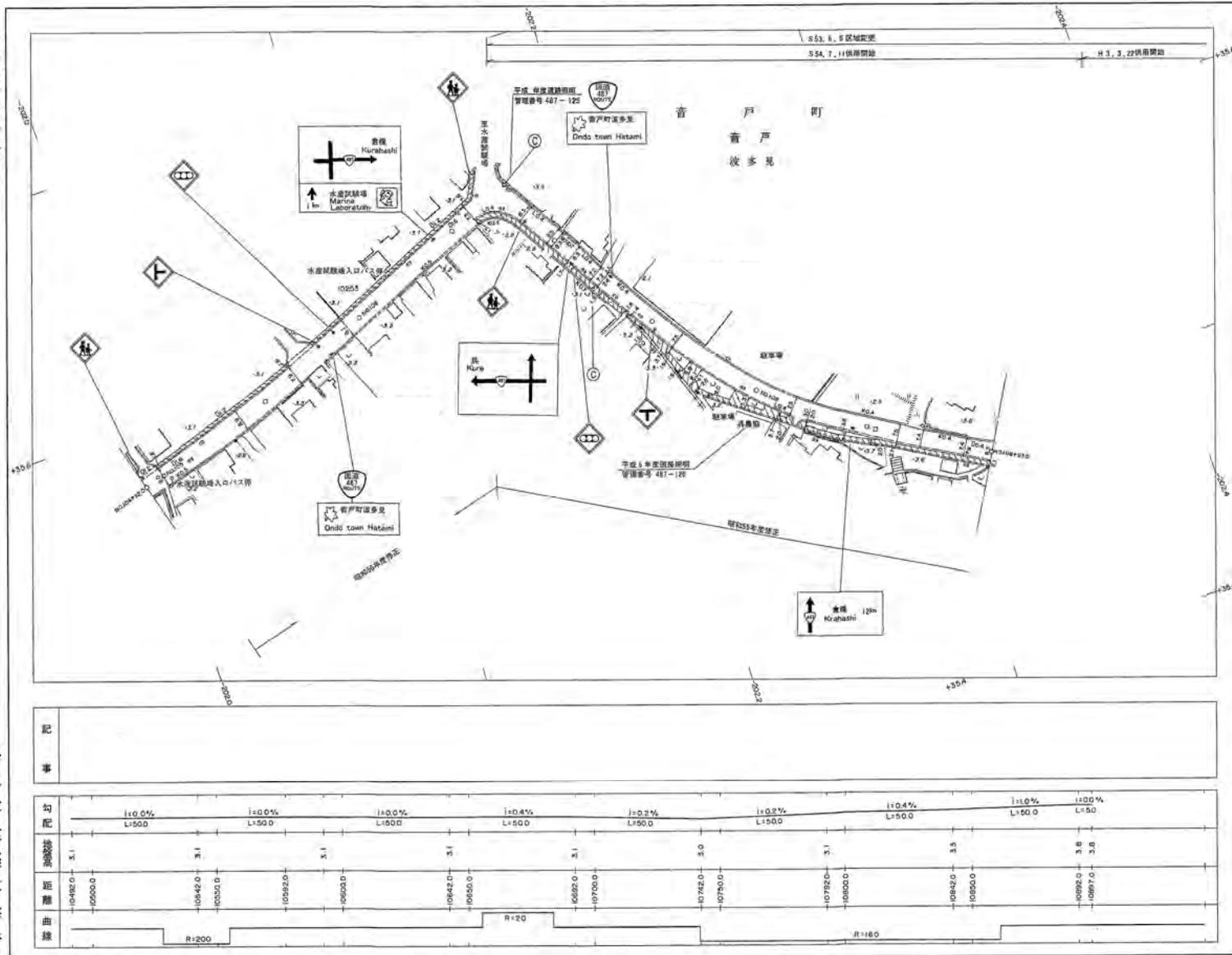
- ・「台帳付図公開専用システム」公開
- ・県内部で最新付図データ共有開始
- ・Doboxとの連携

- ・市町道路管理担当者との連携強化
- ・オープンデータ利用促進のため、事業者及び関係機関の利用促進策を検討

# 広島デジタル構想（具体的な取組）

一般国道487号平面図 No.32-1

昭和五十二年三月修正  
 平成十四年三月修正  
 平成十七年三月修正  
 平成二十一年三月修正



呉土木建築事務所

# 広島デジフラ構想（具体的な取組）

## （⑧-01）建設分野におけるデジタルリテラシー向上に係る研修の実施

### 現状

・建設分野において、デジタル技術の導入・転換を図っていく必要があるものの、職員や建設事業者等のデジタルリテラシー※が不足している。

### 将来像

・建設分野における関係者のデジタルリテラシー向上により、i-Constructionなどの取組が拡大し、建設分野の生産性が向上している。  
・ビッグデータ等の活用が進み、新たなサービスや付加価値が創出されている。

（イメージ図）



主催：広島県

### ICTチャレンジ実践講座

ICT活用事業に今後取り組みたいと思っている関係者様への皆さま、興味があるけれどハードルが高いと感じませんか？本講座では、実際に使用するソフト、設備機器に触れながら体験することができます。

▶対象者 広島県内に本店、支店を有する建設事業者（法人20名定員）

▶講座申込

▶講座会場

**西部会場（広島県）**  
広島県立広島産業会館 4階研修室  
〒732-0818 広島県広島市南区山手16-31  
※駐車場は各自でのご負担となります。  
第1回 11月8日（水） 第2回 12月13日（水）

**東部会場（広島県）**  
広島県立広島産業会館 4階研修室  
〒732-0818 広島県広島市南区山手16-31  
※駐車場は各自でのご負担となります。  
第1回 11月8日（水） 第2回 12月13日（水）

**北部会場（広島県）**  
広島県立広島産業会館 4階研修室  
〒732-0818 広島県広島市南区山手16-31  
※駐車場は各自でのご負担となります。  
第1回 12月4日（月） 第2回 12月13日（水）

▶講座概要

時間	プログラム	講師
9:30～9:40	広島県のICT活用事業の取り組みについて	広島県
9:40～10:00	ICT活用事業の基本	（一社）日本建設機械協会の会 中野 貴史
10:00～11:30	ICT工事に係る3次元設計データの作成実習	（一社）DVL UMEMOTO 広重 浩二
11:30～11:55	ICT活用事業における3次元設計データの取扱い	（一社）DVL UMEMOTO 広重 浩二
11:55～12:10	3次元設計データの活用実習（タブレット端末を活用した実習）	（一社）日本建設機械協会の会 中野 貴史
12:10～12:40	まとめ	

▶お問合わせ先  
（講習会費に関すること） 広島県庁 建設部 建設課 建設課長 電話：085-353-3862  
（申込に関すること） 建設部 建設課 建設課長 電話：085-353-3862  
（お問合わせ先） 株式会社エヌ・ピー・エス 電話：085-353-3862  
（お問合わせ先） 株式会社エヌ・ピー・エス 電話：085-353-3862

ICTの経験の少ない技術者を対象とした講習を開始

実現成果

- ・デジタルリテラシーに係る研修に多くの建設事業者が参加
- ・建設分野における関係者のデジタルリテラシーが向上
- ・建設分野におけるDXの進展



具体的な取組

- ・建設事業者等にデジタルリテラシー向上に係る研修の拡大
- ・他県の先進事例を踏まえ、階層に応じた研修内容を検討
- ・建設分野における新たな取組や国等の動向を踏まえて新たな研修を検討・開催
- ・デジタルリテラシー向上に係る研修内容や研修対象者、研修の運営手法の検討
- ・職員向けデジタル技術等に関する研修の開始
- ・建設事業者との意見交換によるニーズ把握
- ・3次元データ作成などの実践的な内容の講習を開始
- ・大学との包括協定等に基づく職員向け講習会やリカレント教育の推進

※) デジタルリテラシー デジタル技術等についての知識や利用する能力

# (ご案内) ICTチャレンジ実践講座

主催：広島県

CPDS:3ユニット (予定)

## ICTチャレンジ実践講座

ICT活用工事に今後取り組みたいと思っている現場技術者の皆さま、  
興味はあるけれどハードルが高いと感じていませんか？  
本講座では、工事に使用するソフト、測量機器に触れながら体験することができます。

▶対象者 広島県内に本店、支店を有する建設事業者 (各回20名先着)

▶講座申込



▲お申込はこちらから▲  
重複受講不可



▶講座会場

**西部会場**(2回開催)

広島県立広島産業会館 西4展示場  
〒732-0816 広島市南区比治山本町16-31

※駐車料金は各自でのご負担となります。  
第1回 11月8日(水) 第2回 12月13日(水)

**東部会場**(2回開催)

こぎかなくんスポーツパークびんご 陸上競技場大会講室 (予定)  
〒722-0022 広島県尾道市栗原町997

第1回 11月15日(水) 第2回 12月7日(木)

**北部会場**(2回開催)

電光石火みよしパーク 視聴覚室  
〒728-0016 広島県三次市四拾貫町神田谷 カルチャーセンター内

第1回 12月4日(月) 第2回 12月15日(金)

▶講座概要

時間	プログラム	講師
9:30~9:40	広島県のICT活用工事の取り組みについて	広島県
9:40~10:00	ICT活用工事の基本	(一社) 日本建設機械施工協会 中国支部
10:00~11:30	ICT土工における3次元設計データの作成実習	
11:30~11:55	ICT活用工事における3次元設計データの取扱い	(一社) CIVIL USERGROUP 広島分会
11:55~12:30	3次元設計データの利活用実習 (タブレット端末を活用した測量実習) およびレーザースキャナを使用した出来形計測実習	(一社) 日本建設機械施工協会 中国支部
12:30~12:40	まとめ	

※プログラムは一部変更になる場合があります

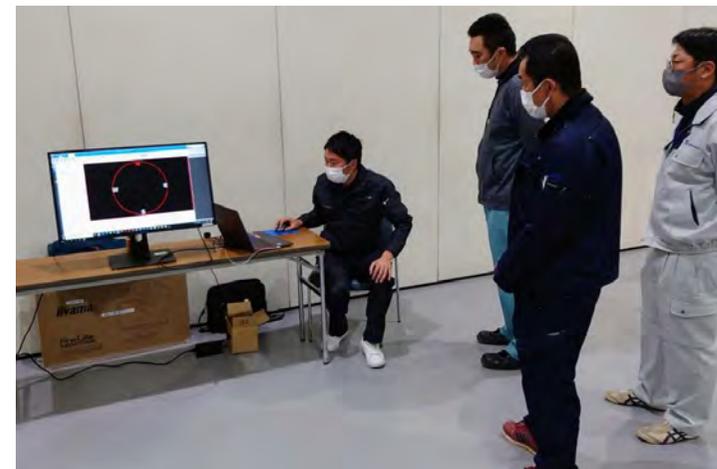
▶お問合わせ先

(講習全般に関すること)  
広島県土木建築局 建設DX担当：廣重  
Tel:082-513-3862  
Mail : kensetsudx@pref.hiroshima.lg.jp

(申込に関すること)  
講習会支援業務受託者  
株式会社東京リーガルマインド 担当：軸丸  
Tel: 080-9648-3041 Mail : j-jikumaru@lec.co.jp



ICT活用工事の基本



3次元設計データの取扱い

# 広島デジフラ構想（具体的な取組・R5新規）

## （②-04）中古住宅市場の活性化に向けた関連データの一元化

R5新規

### 現状

・物件査定や重要事項説明などの不動産取引において必要な情報は複雑かつ各方面に散逸しており、不動産事業者は調査・情報収集に大きな労力を割いている。  
・この煩雑な業務が事業者の生産性を下げており、消費者への情報提供の充実や物件の取引量を増やす可能性を阻害している。

### 将来像

・行政機関や民間事業者などが保有する不動産関連情報に簡単にアクセスできる。  
・効率的に情報収集できることで、事業者の消費者への情報提供の充実や新たな取引物件の掘り起こしに繋がっている。  
・広範囲に情報収集できることで、不動産・住宅関連の新たなサービス創出に繋がり、不動産流通市場が活性化している。

（イメージ図）



# 広島デジフラ構想（具体的な取組 ▶ R5新規）

## （⑤-07）インフラツーリズムの推進

R5新規

### 現状

・橋梁やダムなどの巨大な土木構造物や歴史的な施設は、観光資源として有効活用できる可能性があるものの、県全体として十分に周知・活用できていない。  
・バーチャルでのインフラ紹介やオープンデータ化も進んでいないため、民間企業等でのデータ利活用が進んでいない。

### 将来像

・観光資源として有効なインフラの情報が集約され、県内外の方がインフラについて、学び、感じることができている。  
・オープンデータの利活用等によって、インフラ観光を中心とした旅行ツアーが企画・実行されるなど、民間企業等と連携したインフラツーリズムが創出されている。



### 実現成果

・地域の住民や小学生に、インフラの役割や歴史を知ってもらう

・観光インフラの情報をより視覚的にわかりやすく収集できる  
・バーチャルやリアルでの見学会で、インフラの理解を深める

・インフラ観光を中心とした旅行ツアーが企画・実行されるなど、県内外の多くの方がインフラの役割や歴史を学び、感じている  
・インフラが、地域でしっかりと守られている



### 具体的な取組

・個別インフラでの工事中や完成後の見学会開催  
・ダムカード配布などの情報発信

・観光インフラのデータ整備・一元化  
・DoboXによる可視化や観光HPとの連携  
・バーチャルツーリズム、現場見学会等の充実

・インフラデータ等の拡充  
・民間企業等との連携によるインフラツーリズムの創出  
・地域インフラを地域で守る仕組みの検討・運用

# 広島デジフラ構想（具体的な取組・R5新規）

## ⑤-08) 建築関連申請業務等のオンライン化

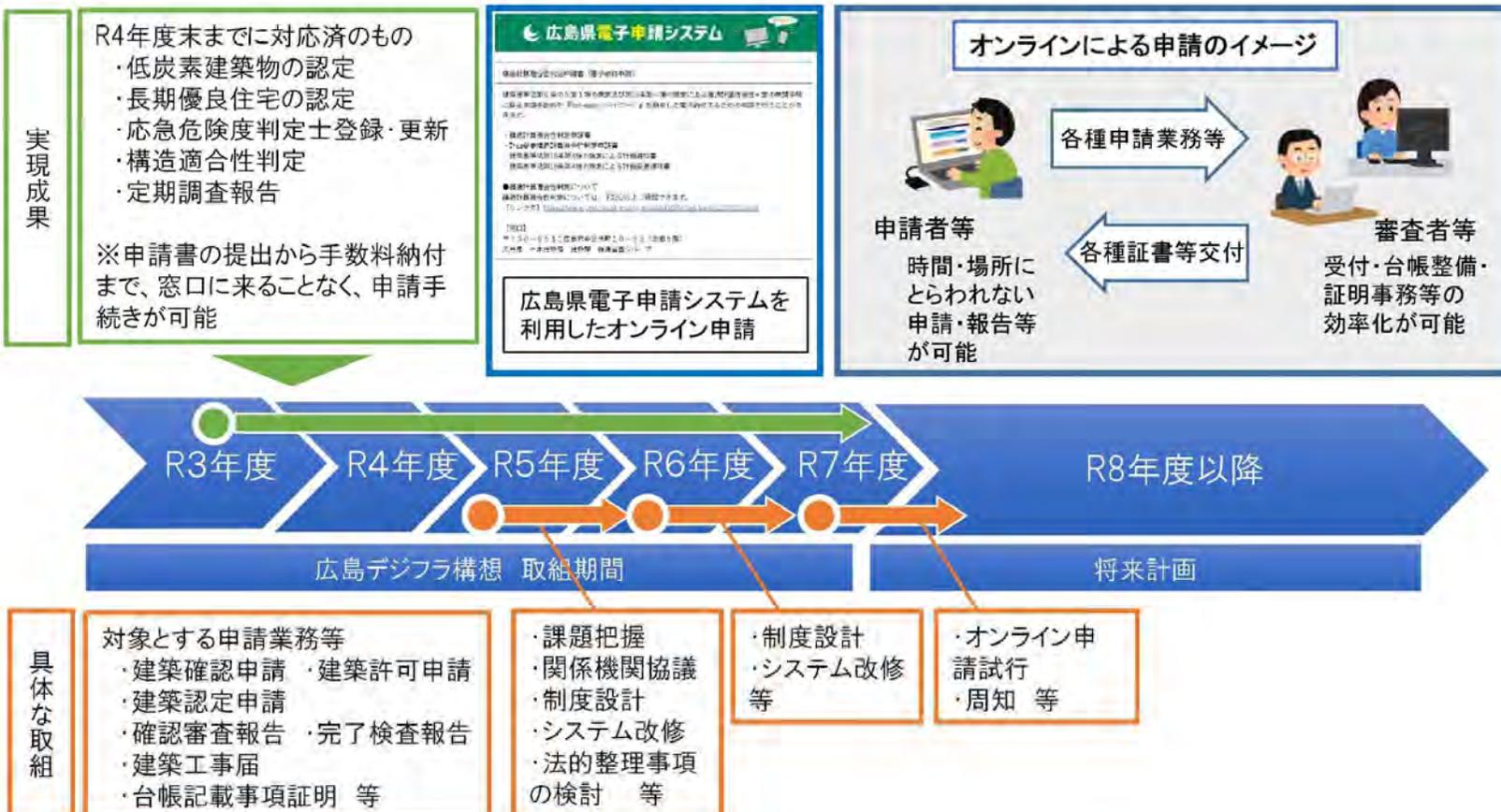
R5新規

### 現状

・建築確認申請や確認審査報告をはじめとする、建築関連申請業務等がオンライン化されていないため、申請者は、申請書の作成や申請に対して多大な作業負担や時間を費やし、審査者等も受付や台帳整備、申請書類の保管等で負担が生じている。  
・各種台帳の一元化が図られていないため、台帳記載事項証明や閲覧について手間や時間を要している。

### 将来像

・建築確認申請をはじめとする各種申請業務等がオンライン化されることで、行政運営の効率化や県民サービスの向上が図られている。  
・一元管理された各種台帳により、県民が時間や場所にとらわれることなく、オンラインで各種台帳記載事項証明の請求や建築計画概要書の閲覧が行える。





<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/>